



2018年10月24日

各位

会社名 シャープ株式会社
代表者名 取締役会長兼社長 戴正呉
(コード番号 6753)
問合せ先 管理統轄本部 管理本部 経理部長
岸昭彦
TEL (072)282-1221

2019年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想の修正に関するお知らせ

2018年4月26日に公表いたしました2019年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

2019年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想の修正
(2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,300,000	46,000	43,000	36,000	54.52
今回修正予想(B)	1,125,000	46,500	43,000	40,000	61.10
増減額(B-A)	△175,000	500	0	4,000	
増減率(%)	△13.5	1.1	0.0	11.1	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	1,115,165	40,562	41,126	34,739	52.43

※当社は、2017年10月1日付で、普通株式及びC種種類株式についていずれも10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。1株当たり四半期純利益については、前期及び当期ともに当該株式併合の影響を考慮しております。

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間は、流通在庫を勘案し中国での液晶テレビの販売を抑制する等、「量から質へ」の体質改善に取り組みました。これに加え、台風による物流への影響等があったことから、売上高については、期初の業績予想を下回る見込みです。一方、利益については、体質改善が着実に進んでいることから、期初の業績予想を上回る見通しです。

こうしたことから、売上高、営業利益、親会社株主に帰属する四半期純利益について、当第2四半期連結累計期間の前回予想を修正いたします。

※ 本資料における業績予想については、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは様々な要因により大きく異なることがあります。実際の業績などに影響を与える可能性のある重要な要因には、以下の事項がありますが、これらに限定されるものではありません。

- ・ 当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢の著しい変化
- ・ 製品やサービスの需要動向の変化や価格競争の激化
- ・ 為替相場の変動（特に、米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替相場）
- ・ 諸外国における貿易規制などの各種規制
- ・ 他社との提携、アライアンスの進捗状況
- ・ 当社グループに対する訴訟その他法的手続き
- ・ 製品やサービスについての急速な技術革新 など

以 上